

亀山本徳寺 御正忌報恩講

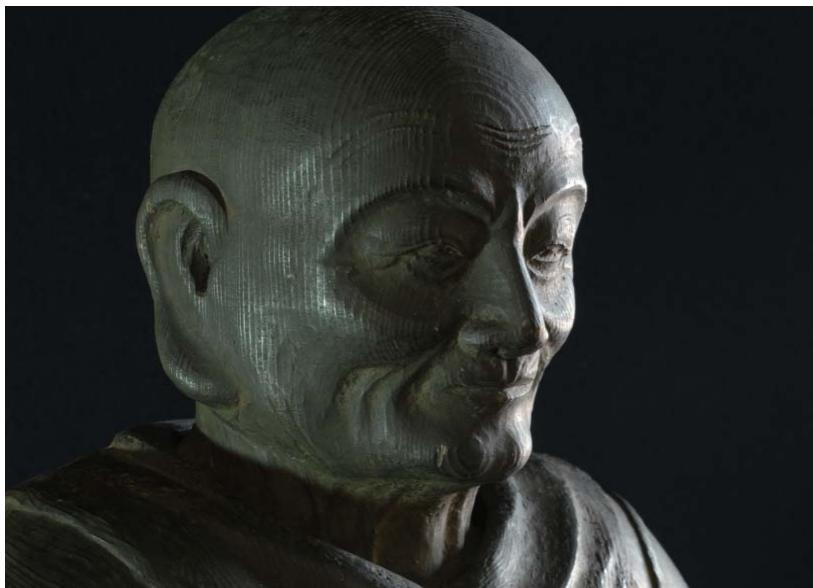
報恩講は親鸞聖人のご法事

2026年1月13日（火曜）～16日（金曜）

午後1時

午前12時

中心となる行事は15日・午後2時から。覚如上人の作成された式文・嘆徳文の拝読が本山と同様に報恩講作法に則り修業されます。



今、私たちは、有り余るものに囲まれながら豊かさを実感できないでいます。批判や言い訳は得意ですが、己を支えている人やものの存在に気付くことは希です。

生きていくために多くの知識をもちながら、肝心の己が何ものであるかを知りません。目先の損得には敏感ですが、事の真偽には疎いようです。過剰な人生観－「如何に生きるか」はあっても、たった一つの死生観－「如何に死ぬか」をもてないのは悲惨です。

喜びや悲しみをかかえても、それを他者と共有することができない不幸。こんな閉塞社会で、人はとまどい、孤立し、不安を抱き、最後の一息まで右往左往して骨になってしまいます。

人と自然が分離され、己と他者とが分断され、生きることと死ぬことが乖離した文明時代に、生死出離の一大事を親鸞聖人の生き方から学ぶことは何よりも大切なことです。

本徳寺内道場ご安置のお木像／期間中拝観

本徳寺御正忌報恩講とは、親鸞聖人のご命日に際し、聖人のご苦労を偲び、お念佛の歎びを今に伝えて下さったご恩に感謝して、播州門徒が本徳寺に集い伝統作法に則って修業される真宗の歴史的行事です。皆様お誘い合わせご参拝され、聖人のご遺徳に触れていただけますようご案内いたします。

主な行事

13日には、真宗文化研究会の法要が勤まります。 同日にかぎり、奥書院では法寶物の展示と抹茶の接待があります。

15日は御正忌の中心的法要で、本徳寺コーラス部による仏教贊歌奉納があり、報恩講作法にて式文・嘆徳文が披露されます。期間中、内道場では宗祖木像が、本堂左余間ではご絵伝（文化財）が拝観出来ます。なお、期間中、蓮如堂にて、行事後毎座、應行寺・荻野至師によりお説経があります。昼食は14日・15日・16日おときの食事が用意されますので食券お求めください。

お問い合わせ

亀山本徳寺寺務所

姫路市亀山 324
TEL 079-235-0242 FAX 079-235-2416